

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	慢性リンパ性白血病
治療法	マブキャンパス単独療法

1	
抗癌剤・商品名	マブキャンパス
規格	30mg/1mL
一般名	アレムツズマブ
患者情報から算出した 一日投与量	☐ 3 mg/body 連日投与 ※Gr.3以上の infusion reaction がなければ10mg/day連日投与へ移行
	☐ 10 mg/body 連日投与 ※Gr.3以上の infusion reaction がなければ30mg/day隔日投与(週3回)へ移行
	☐ 30 mg/body day1,3,5 1クール7日間
予定クール数	最大12週まで
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて随時検査実施

適応基準	再発又は難治性の慢性リンパ性白血病
推奨 経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤の成分又はマウスタンパク質由来製品に対する過敏症又はアナフィラキシーの既往歴のある患者 2.重篤な感染症を合併している患者 3.妊婦、妊娠している可能性のある女性
中止基準	投与前の好中球数:1000/mm ³ 未満、血小板数:50,000/mm ³ 未満 骨髓機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	●マブキャンパス 重大 1.血球減少 2.Infusion reaction 3.感染症 4.免疫障害 5.腫瘍崩壊症候群 6.心障害 7.出血 8.進行性多巣性白質脳症(PML) 9.B型肝炎ウイルスの再活性化による劇症肝炎、肝炎の増悪 10.頭頸部動脈解離 その他 (10%以上)肺炎、食欲減退、頭痛、低血圧、嘔吐、悪心、下痢、口内炎、そう痒症、蕁麻疹、発疹、悪寒、発熱、疲労、倦怠感、体重減少、サイトメガロウイルス検査陽性、LDH増加 (1~10%未満)尿路感染、気管支炎、上気道感染、膿瘍、鼻咽頭炎、感染、発熱性好中球減少症、低カルシウム血症、脱水、低アルブミン血症、低ナトリウム血症、低カリウム血症、不安、うつ病、傾眠、不眠症、浮動性めまい、振戦、錯感覚、感覚鈍麻、頻脈、徐脈、動悸、洞性徐脈、高血圧、潮紅、喀血、咳嗽、喘鳴、鼻出血、鼻漏、口腔咽頭不快感、上気道の炎症、腹痛、消化不良、便秘、口内乾燥、胃炎、腹部不快感、肝機能異常、多汗症、寝汗、紅斑、筋肉痛、背部痛、四肢痛、関節痛、血尿、尿量減少、腎機能障害、胸痛、インフルエンザ様疾患、無力症、疼痛、末梢性浮腫、胸部不快感、冷感、熱感、浮腫、体重増加、総蛋白減少、AST(GOT)増加、ALP増加、血中ビリルビン増加、ALT(GPT)増加、血中アルブミン減少、回転性めまい、高ビリルビン血症 (1%未満)副鼻腔炎、咽頭炎、びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫、リンパ球減少症、紫斑、歯肉出血、播種性血管内凝固、リンパ節症、口渇、高血糖、錯乱状態、人格変化、歩行障害、末梢性ニューロパチー、眼部腫脹、眼内炎、心房細動、上室性頻脈、上室性不整脈、上室性期外収縮、咽喉絞扼感、胸水、呼吸音異常、しゃっくり、上気道性喘鳴、口腔内潰瘍形成、舌潰瘍、歯肉炎、腹部膨満、皮膚障害、紅斑性皮疹、皮下出血、そう痒性皮疹、筋緊張、骨痛、筋痙攣、尿失禁、急性肺水腫、注射部位血腫、体温上昇、注射部位紅斑、ハプトグロビン減少、肝機能検査異常、耳鳴
備考	○投与時にGr.3以上のinfusion reactionが認められない場合、下記のように次回より増量を行うこと ・1日1回 3mg/body 連日投与→1日1回 10mg/body 連日投与 ・1日1回 10mg/body 連日投与→1日1回 30mg/body 週3回隔日点滴静注

マブキャンパス単独療法 観察記録

所要時間:約3時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬()		入外()		
医師	指示医師: マブキャンパス (mg) 一般名(アレムツズマブ)			抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由		抗がん剤以外の薬剤の変更・追加		
	□投与決定 □未決定 □延期・中止					投与 開始時間	調剤 実施	
投与指示	本体		側管					
	生食250mL				3時間かけて点滴【83mL/h】			
			カロナール錠 500mg 1錠 ルパフィン錠 10mg 1錠		マブキャンパス開始30分前に経口内服			
			生食100mL+マブキャンパス		2時間かけて点滴【 50 mL/h】			
	本体終了後抜去							